

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和8年7月10日
事業者名:	Silly Putty

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	店内でかける音楽は既存のアナログレコードをを使用することで、サブスクを利用する場合に比べ、温室効果ガスの削減に努めています。		③すべての人に健康と福祉を,⑪住み続けられるまちづくりを,⑫つくる責任 つかう責任	開業後1年のため、昨年度実績がありませんので、既存のレコードをかける場合と、サブスクを使用した場合の1年間のベースでの費用の削減量を試算 レコードの再生にかかる電気代は、1時間あたり約3円程度。毎日8時間聴いたとして、1ヶ月(20日)の電気代は約480円。 これに対して、サブスクを使用した場合には上記の料金に加えて1時間当たり0.75円の電気料およびサブスク使用料(1,080円)が上乗せ。	指標	二酸化炭素の排出量削減
					目標	2030年までに20%削減
社会	音楽鑑賞環境を通じてを環境配慮の啓蒙活動を行う		④質の高い教育をみんなに,⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに	来店されるお客様に環境面の含め、サブスクと比べて、アナログレコード再生の素晴らしさを伝えてきた	指標	おむすび博を皮切りに、アナログレコード再生講習会を年2回行う これによって環境に配慮できる音楽とのかかわりに興味を持ってもらう。
					目標	上記で得たノウハウを元に当店で定例として講習会を行う。 2028年までに年12回（毎月開催）をしていく
経済	アナログレコード再生への完全移行に伴い、サブスク使用料の排除、サブスク対応機材の売却、電気料（温室効果ガス）の削減 お客さまの家庭でも問組んでいただくことでさらに大きな敬愛効果が期待できる		⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに,⑧働きがいも経済成長も,⑰パートナーシップで目標を達成しよう	社会面で記載した講習会において社会問題を解決する方策を考えられる機運を醸成し、さらにその先にある経済面も解決策も講習会の続編として取り組む	指標	今年中に上記社会面を念頭に置いた講習会に続く、経済面まで視野に入れた講習会を年2回行う。
					目標	2030年までに上記講習会を年12回（毎月1回）実施する。
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 ＜具体的な内容を記載＞ 重点項目を満たす研修をおむすび博で実施するための申請準備中				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 取組み内容を店内に掲示している。				